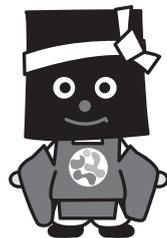


こんにちは！ 地域おこし協力隊です！



のりた

「地域おこし協力隊」とは、都市から人口減少や少子高齢化が著しい地方へ移住し、その定住・定着を図りながら、地域力を維持・強化することを目的とする取り組みです。
4月から協力隊として、桂島でノリ漁を行っている荒井啓汰さんに、現在の活動などについてお話しいただきました。

現在の活動内容

現在、ノリ漁はオフシーズンです。お盆明けから始まる来シーズンに向けて、網やいかだの修理などを行っており、作業を覚えることに悪戦苦闘の毎日です。

ノリ漁は体力勝負です。作業はもちろん、生活リズムも慣れるまでは大変でした。シーズンが始まると、生活リズムがガラッと変わるので頑張りたいです。

また、早く馴染むため、地区の総会を見学させてもらったり、浜清掃に参加したりと、島の行事には積極的に参加するようにしています。

地域おこし協力隊に応募したきっかけ

震災後、両親の実家がある宮城県で働きたいと思っていました。地域活動に興味があり、「遅咲きのヒマワリ」ボクの人生、リニューアル」というドラマを見て、「地域おこし協力隊」の制度を知っていたので、「移住・交流推進機構（J-OWN）」のサイトで宮城県内の募集を探しました。

数件の募集がありました。また、塩竈市の「離島」に興味を持ちました。また、母の実家が利府町なので、小さいころから塩竈市は身近で、「浦戸」のことも知っていました。

前の仕事でもやりがいを感じていたため、初めは戸惑いもありましたが、上司の「若いうちは何でもできる」という言葉が背中を押してくれました。

今後の目標など

今は、作業を覚えて、苦手な作業も克服できるよう努力することです。スピードではとてもついていけないので、

ある日のスケジュール

4:00	起床、朝食(1回目)
5:00~ 7:00	作業(網合わせ作業)
7:00~ 8:00	朝食(2回目)
8:00~11:00	作業(網合わせ作業)
11:00~13:00	昼食
13:00~15:30	作業(網合わせ作業)
15:30~18:00	掃除、洗濯
18:00~20:00	夕食
20:00~20:30	入浴
20:30~22:00	自由時間
22:00	就寝

浦戸に定住し、ノリ漁を行いたい

あら い けい た
荒井 啓 汰

活動地域：浦戸桂島
1年目 23歳



略歴…仙台市生まれ、小学校2年生まで過ごす。その後、父の転勤で岩手県、埼玉県へ。大学を中退後、東京都で契約社員として通信会社に勤めた。

確実に作業できるようになりたいです。そして、桂島のノリ会社（※合同会社）に就職することが将来の目標です。
また、島の魅力発信や地域活性化を促すような活動は、まだできていません。島の活性化や交流人口の増加につながるような、浦戸を知ってもらおう活動を考えていきたいです。

※震災前、桂島のノリ漁師は個人で漁を行っていましたが、作業場の機械が被災してしまっただけで、さまざまな支援を受け、桂島のノリ漁師を中心に14人が協業で再スタートを切るようになりました。このような経緯で昨年6月に合同会社を設立しました。

島に生きる！ 島で生きる！ 島を活かせ！

「地域おこし協力隊員」募集します

寒風沢で **かき養殖漁業** に従事する
桂島で **刺し網漁業**



市では、市外在住で浦戸諸島で漁業に従事し、将来の漁業後継者、島づくりの担い手になっていただける志のある方を、広く全国に公募します。詳しくは市ホームページをご覧ください。

<http://www.city.shiogama.miyagi.jp/seisaku/oshirase/chiikiokoshikyoryokutai.html>